

1 地 勢

- 北区は、新潟市北東部の阿賀野川以北に位置し、東は新発田市、聖籠町、南は阿賀野市に隣接しています。
- 区の北側は日本海に面しており、海岸線に沿って砂丘地帯が形成されています。東に飯豊連峰、南には五頭連峰を望み雄大な田園風景が広がっており、近隣には月岡温泉があります。
- 区の東南部に位置する福島潟は、国の天然記念物オオヒシクイの日本有数の越冬地として知られています。

2 歴 史

- 北部の砂丘地帯のうち、一番内陸にある砂丘上の遺跡からは縄文時代前期末の土器が発見されており、これが北区最古の人類の痕跡とみられています。弥生～古墳時代になると、人々は自然堤防などのある低地に活動範囲を広げ、稲作を行ったと考えられています。奈良・平安時代には、海岸に近いところでは塩作りが行われていました。
- 享保15(1730)年阿賀野川の松ヶ崎掘割(水路)工事とその翌年の洪水による掘割(水路)の阿賀野川本流化によって、広大な干上がり地が生まれ、耕地の開発が進みました。
- 明治以降も度重なる水害に見舞われ、その中でも昭和41(1966)年と翌42(1967)年の2年連続の水害では、甚大な被害となりました。現在は新井郷川排水機場、胡桃山排水機場、福島潟放水路などの治水対策が行われ、さらに福島潟水門の設置工事も進められています。
- 昭和44(1969)年には、日本海沿岸の工業開発の拠点として新潟港東港区(新潟東港)が開港しました。
- 昭和の大合併では、北蒲原郡西部郷の松ヶ崎浜村・南浜村・濁川村が新潟市と合併しました(昭和29(1954)年)。そして木崎村・葛塚町・岡方村・長浦村が合併して豊栄町となり(昭和30(1955)、34(1959)年)、その後豊栄市となりました(昭和45(1970)年)。
- 平成17(2005)年には新潟市と旧豊栄市を含む周辺13市町村が合併し、平成19(2007)年には政令指定都市に移行、旧北蒲原郡西部郷の地域は新潟市北区として、再び共に歩み出しました。

3 自 然

- 区の東南部に位置する福島潟は、これまでに220種類以上の野鳥、470種類以上の植物が確認されている自然の宝庫です。

- 阿賀野川河跡湖の十二瀉や阿賀野川河口のひょうたん池などには貴重な水生動物・植物が生息・生育しています。
- 北部の海岸線沿いにある松林は、自然と調和した「海辺の森」として整備され、様々な植物や野鳥が見られます。

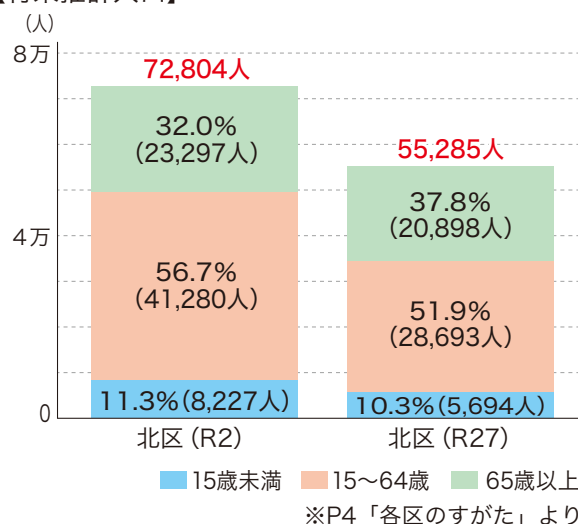


冬季に飛来するオオヒシクイ

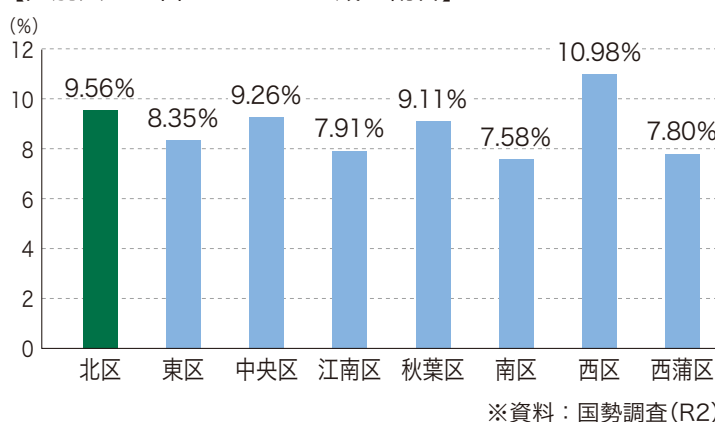
4 人口

- 令和2(2020)年の北区の人口は、72,804人です。
- 年齢別にみると、15歳未満の年少人口割合は11.3%、15~64歳の生産年齢人口割合は56.7%、65歳以上の高齢者人口割合は32%となっています。
- 区の人口に占める15~24歳の割合をみると市内で2番目に高い割合となっています。
- 令和27(2045)年推計人口は約55,000人であり、令和2年と比較して約17,500人の人口減となることが予測されています。また、65歳以上の高齢者人口割合が約6%増加すると予測されています。

【将来推計人口】



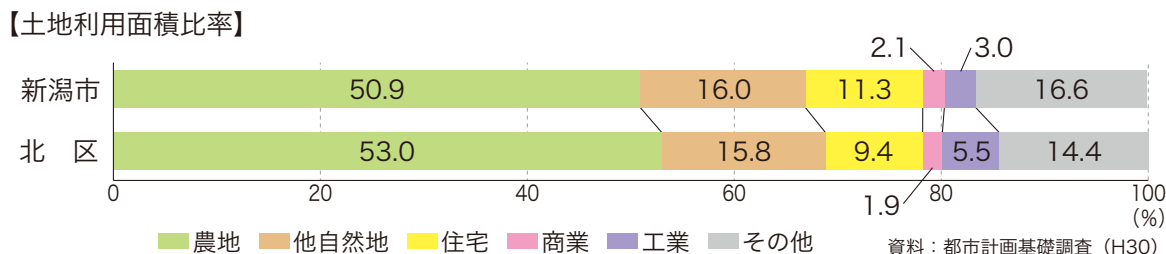
【区別人口に占める15~24歳の割合】



5 土地利用

- 住宅地は、既存の市街地と農村集落、新たな宅地開発により造成された新興住宅地で構成されています。

- 農地の割合は、区の面積の53%と市の平均と比較して高く、工業用地は新潟東港があり立地環境が良いことから、8区の中で最も広い面積を有しています。



- 松浜・濁川・早通・木崎・葛塚地区では従来から人口が集中しています。国道7号（新新バイパス）沿線や県道新潟新発田村上線沿線、新潟東港、新崎地区などでは工業団地の整備が進められてきましたが、その後、JR白新線の駅周辺での住宅地造成や西名目所・濁川地区における工業団地造成などで、市街化区域が拡大しています。

6 産 業

- 農業分野では、「儲かる農業」の実現に向け、稲作を主体としつつ、園芸作物との経営複合化や園芸産地拡大にも積極的に取り組んでいます。中でも北区産のトマト、なすは県下一の出荷量を誇り、高い評価を受けています。



北区産トマト



北区産なす

- 国際拠点港湾である新潟東港は、本州日本海側最大のコンテナ貨物取扱量を誇り、国際物流やエネルギー供給の拠点となっています。
- 主要幹線道路や隣接区に国際空港があるなど、国内外のアクセスの良さから多数の工業団地が整備され、地域経済を支えています。
- 商業分野では、豊栄駅前地区、松浜地区の商店街の賑わいづくりに取り組んでいます。両地区では古くから露店市が開かれており、まちの台所として人々に親しまれています。

7 交 通

- 日本海東北自動車道、国道7号（新新バイパス）、国道113号の主要幹線道路が東西を貫き、新潟中央環状道路をはじめとする県道、市道と結ばれ道路網を形成しています。鉄道はJR白新線が運行されており、区内には4つの駅があります。バスは市の中心部から南浜地区や新発田方面へと運行されているほか、区バス・住民バスなどが区内の移動手段としての役割を担っています。

北区の全体図

